

# 週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.07.25~07.29

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

\*記事は東京発行・最終版



7月25日(月)

## 中国での特許出願を支援

中国語、高精度に機械翻訳／特許庁  
特許庁は、中国での技術特許や実用新案の出願急増に対応するため、中国語の機械翻訳を高精度で実現する日本語辞書と要約(抄録)データベース(ＤＢ)の開発に着手する。(1面)

## 北中国 海峡地 インド西岸

川崎汽船／来月運航  
川崎汽船は、8月に北中国 海峡地 インド西岸を結ぶ新サービスを開設。エバグリーン・ラインとシマテック・ SHIPPINGとの協調運航。2500 2800TEU型コンテナ船6隻投入する。(17面)

## 日本の食品・飲料、少し回復

購買意欲／5月末調査  
日本から輸入した食品と飲料品について、中国で5割程度の人が購買意欲が下がると考えている。インテージのグループの現地企業が5月に調査した。7 8割だった4月に比べ回復傾向。(22面)

## 電子書籍大国への道

中国電子書籍ビジネス調査報告書2011  
紙の出版物の普及が遅れていた中国は、電子書籍が急速な発展を遂げ、電子書籍大国への道を歩みつつある。インプレスR&Dが『中国電子書籍ビジネス調査報告書2011』を発表。(22面)

## 中国はWTO違反

レアメタル輸出規制  
WTOの紛争処理小委員会は、中国のレアメタル(希少金属)など鉱物資源の輸出規制はWTO協定違反とする報告書をまとめた。外務省は「一連の流れを見極めてから訴えるか決める」。(22面)

## 香川県、出展費用を一部支援

中小企業・団体向け／香川県  
香川県は、中小企業・団体による上海などでの見本市・商談会出展を支援する事業を創設した。高松和上海を結ぶ航路開設を受けた措置。中国の格安航空が週2往復、利便性が高まる。(33面)

7月26日(火)

## コーセル、中国に2社

スイッチング電源を製販  
コーセルは、中国にスイッチング電源の製造・販売会社を2社設立する。100%出資の現地法人と、香港企業との合弁。生産能力を強化し現地で産業用電子機器向けに拡販する。(3面)

7月23日に起きた中国版新幹線の追突脱線事故は、中国の高速鉄道計画にも大きな影響を与えそうだ(ブルームバーグ)



## 新幹線 - 信頼の「枯れた技術」

中国高速鉄道で事故  
中国高速鉄道で事故が23日発生した。日本の新幹線は、死亡事故が一度もない。先端技術をあえて避け「枯れた技術」にこだわり続けるのは、信頼性が確認されているからだ。(深層断面＝36面)

## プレス工業、キャビン工場

ミニショベル用／日・米系の建機向け  
プレス工業は、江蘇省に100%出資のミニショベル用キャビン製造会社を2012年1月に設立する。キャビンの組立工場を新設。日系・米国系の建設機械メーカーに納める。(6面)

## 中国水質保全研究に2件

オルガノ／劉・呉の両氏  
オルガノは、中国の水質保全に貢献する大学院生の研究を支援する「オルガノ賞」を決めた。一等賞は劉麗氏(中国科学技術大学)と吳陽氏(中国科学院生态环境研究中心)の2件。(15面)

## 三菱電機、中国内陸部で攻勢

放電加工機2倍／レーザー2.5倍  
三菱電機は、中国で2015年に放電加工



中国で拡販する放電加工機(三菱電機)

機の販売量を2倍の1000台に、レーザー加工機を2.5倍の200台に引き上げる。中国内陸部に販売代理店を置く。現地の自動車、電機メーカーを開拓。(9面)

## アリナミン、中国に投入

武田薬品／大衆薬品  
武田薬品工業は、海外で処方せんが不要な対面販売用の大衆薬品の販売を強化する。台湾、インドネシア、タイの製品を拡充。中国でOTC販売に参入。第1弾としてアリナミン。(21面)

## 三井不動産、広州に現法

商業施設・分譲住宅・複合開発  
三井不動産は、広州市に100%出資の現地法人を設立し、8月22日から営業を始める。中国現法は3カ所目。1人あたりGDPは中国2位。商業施設や分譲住宅、複合開発などを積極展開。(21面)

## 瀋陽に投資ファンド

日本アジア投資／日系の進出支援  
日本アジア投資は、瀋陽万潤新城投資管理と共同で、中国ビジネスの拡大を志向する日本企業や事業拡大を目指す中国企業に投資する「万宜(瀋陽)創業投資基金(仮称)」を設立する。(23面)

7月27日(水)

## 綜研化学、中国に新工場

家電向け粘着テープ増産  
綜研化学は、2012年度以降に華東地区で家電など産業向け粘着テープの生産拠点を新設する。15億円投資。出資する寧波綜研化学が生産しているが、相次ぐ増産投資で敷地が手狭に。(2面)

## 住生活、ハイアールと合弁

建材・住設／青島に新会社  
住生活グループは、中国家電大手の海

爾集團(ハイアール)と、中国市場での建材・住宅設備機器の生産・販売強化に向け、合弁会社設立で合意した。年内に、山東省青島市に新会社を設立。(3面)

## 日産、中国に6100億円投資

販売230万台／新型車30  
日産自動車は、中国で2015年末までに6100億円を投資し、同年の販売台数を95万台増の230万台以上に引き上げる。電気自動車(EV)など30の新型車を投入する。販売店舗は2400に拡大。(6面)

## ホンダ、中国生産100万台

2013年には年産36万台  
ホンダは、中国の4輪車生産・販売の合弁会社である東風本田汽車が累計生産100万台を達成した。2004年にSUVの「CR-V」生産を開始。当初は年産3万台。13年に36万台になる。(6面)

## 上海でモバイル広告

ディーソーコミュニケーションズ  
ディーソーコミュニケーションズは、上海市に迪尔希(ディーアルシー)広告を設立し、8月8日にモバイル広告の営業を開始する。日系企業を中心に、ノウハウを活用し展開する。(13面)

7月28日(木)

## トヨタ、中国でエンジン増産

年130万基体制／300億円投資  
トヨタ自動車は、中国に小型車用エンジンの生産ラインを2013年に新設、全体の生産能力を3割増の年130万基に。天津と広州に年10万基ラインを3本新設。総投資200億 300億円。(1面)

ラインを増強する広州のエンジン工場(トヨタ自動車)



## 中央発條、昆山に工場

自動車用精密バネ／日系向け  
中央発條は、2012年6月に昆山市に自動車用精密バネの工場を建設する。日系自動車メーカー向けに自動車用精密バネのほか、コントロールケーブルを生産する。(5面)

## ニチユ、上海生産40%増

フォークリフト／年4600台  
ニチユは、2011年内に上海市のバッテリー式フォークリフト工場の年産能力を約40%増の最大4600台に引き上げる。中国などの新興国での需要増でフル操業しているため、生産能力を増強。(7面)

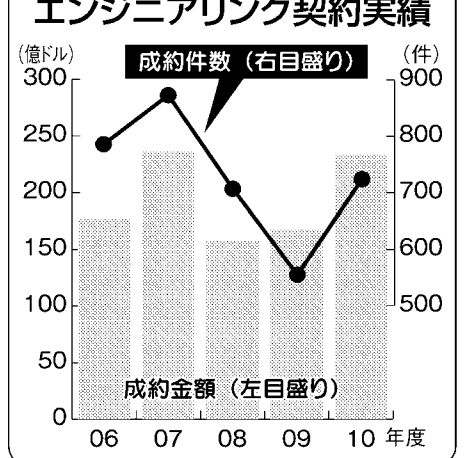
## 日韓共同でD B

中小企業の技術・製品情報  
日本商工会議所の岡村正会頭は、韓国の大韓商工会議所と共同で、両国の優れた中小企業の技術・製品情報を集めたDBを構築する。両国中小のマッチング加速を狙う。(3面)

## 海外プラント39%増

日本企業の成約／アジア地域で85%増  
2010年度の海外プラント・エンジニアリングの日本企業の成約実績は、前年度比39.4%増の約1兆8209億円で過去3番目。アジアが85.8%増の106.1億ドルで最多。日本機械輸出組合まとめ。(7面)

## 日本企業の海外プラント・エンジニアリング契約実績



## デリー地下鉄の電機品受注

三菱電機／増結用45億円  
三菱電機は、インドのデリー地下鉄公社から増結用車両136両分の電機品を総額45億円受注した。4両編成を6両に増結する。68編成すべての主電動機、主変換装置、補助電源装置など。(11面)

7月28日(木)

## 萩原電気が韓国に販社

ソウル／車載用マイコンなど  
萩原電気は韓国で、車載用マイコンなど半導体製品の販売に乗り出す。ソウル市に全額出資の販売子会社「萩原電気韓国」を設立。まず現地進出の日系の自動車部品メーカーに販売。(3面)

## トヨタ、インド2倍

年31万台／戦略車「エティオス」好調  
トヨタ自動車は、インド・ベンガルール市の車両工場の年産能力を2013年に2倍の31万台に増強する。4割増(21万

## シャープ、70型液晶TV

3Dなど2機種  
シャープは、中国市場に70型サイズの大形液晶テレビを投入する。米国に次いで2カ国目。3D(立体映像)対応と標準の2機種。大型ガラス基板を世界で唯一採用する堺工場の強み生かす。(8面)

## がん遺伝子治療、中国で研究

タカラバイオ／天津市腫瘍病院と  
タカラバイオは、天津医科大学天津市腫瘍病院と難治性のがんを対象としたT細胞受容体遺伝子治療の共同研究契約を結んだ。遺伝子治療の臨床開発を行うのを初めて。(15面)

## 通販サポート、中国展開支援

池田泉州銀行と日本通運大阪支店  
池田泉州銀行と日本通運大阪支店は、中国を中心にした海外ビジネスで業務協力協定を結んだ。中国国内での通販をフルサポート。顧客の中国ビジネス支援に力を入れる。(17面)

## 4開発区・市と産業誘致で協力

みずほコーポ  
みずほコーポレート銀行は、張家港経済開発区など4開発区・市と、産業誘致などで業務協力を締結した。産業誘致の助言など、日系企業に対する現地への進出支援などを実施。(17面)

## 高松 上海週末シフト

香川県・春秋航空／週4便へ  
上海の格安航空・春秋航空による高松上海便の就航が約2週間。香川県と春秋航空は週4便への第一歩として、10月から出発を木・日曜の「週末シフト」で最終調整に入った。(39面)

7月29日(金)

## 三洋の白物家電を売却

ハイアールに／パナソニック  
パナソニックは、家電最大手のハイアール(海爾集団)と子会社の三洋電機の冷蔵庫、洗濯機事業と東南アジア4カ国での白物家電販売事業を売却交渉。白物家電での重複事業を解消する。(3面)

## 森松工業、中国2工場を拡張

プラント用大型金属タンク  
森松工業は、2012年末までに約90億円を投資し中国で化学・医薬品向けプラント用大型金属タンクを製造している2工場を拡張する。新興国を中心に化学品などのプラント建設が旺盛。(4面)

## マザック、中国第2工場

小型工作機械／月100台  
ヤマザキマザックは、2012年末の稼働予定で中国第2工場を大連市に建設する。小型工作機械を月間100台生産する。世界の各工場に供給する部品やユニットも集中生産。(6面)

台)の計画だったが、新興国戦略車「エティオス」が好調で増やす。(5面)

## ミツ星ベルト、インドに工場

自動車用伝動ベルト  
ミツ星ベルトは、インドのナビムバイに現地法人「ミツボシベルトエンジニア」を設立し、自動車用伝動ベルトの新工場を建設する。2012年の操業予定。初のインド拠点。(5面)

## インドネシアに部品工場

シロキ工業／50万台分  
シロキ工業は、インドネシアにウィンドーレギュレーターとシート部品の工場を2012年後半に稼働。年産能力は各40万50万台分。トヨタ自動車やダイハツ工業の増産に対応。(5面)

## 黒崎播磨、インドにマッド工場

年産1万8000トン  
黒崎播磨は、インドのベルバル工場に、マッド工場を建設する。年産能力はタール系とレジン系合わせて1万8000トン。マッドは高炉の出鉄口の閉塞に使う粘土状の耐火物。(11面)

## 関西電力、シンガポールに技術

配管腐食抑制技術  
関西電力は、シンガポールの発電会社セノコ・エナジーに火力発電所の配管腐食抑制技術を移転する。配管の水にアンモニアを注入しpH9.8以上のアルカリ性に調整する。(13面)

7月29日(金)

## GMB、現代自にHVボンブ

年3万個／EV向けも試作  
GMBは、韓国の現代自動車グループからハイブリッド車向け電動ウォーターポンプを受注し、供給を始めた。年間3万個以上。併せて、新型電気自動車向けポンプも試作した。(5面)

## 三菱重、インド生産50%増

ボイラ・タービン／600万キロワット分  
三菱重工業は、超臨界圧石炭火力発電所向けボイラ、蒸気タービンのインド生産拠点の年産能力を50%増に引き上げる。年産400万キロワット分を、2013年以降に同600万キロワット分にする計画。(6面)

## 三井化学、ウレタン原料を増産

韓国合弁3割増／年20万トン  
三井化学は、韓国の合弁会社・錦湖三井化学のジェフルメタタニソシアネート(MDI=ウレタンの主原料)生産能力を約3割増強する。約26億円を投資、2013年3月までに年20万トンに。(14面)

## 新日鉄、中国に新工場

特殊鋼棒線／年4万2000トン  
新日本製鉄は、特殊鋼棒線製品の生産能力を増強する。27億5000万円投資し新工場を建設。現工場の設備を新工場に移転し、2013年3月稼働。生産能力は年7000トンから4万2000トンに増強。(14面)

## 中国の食品に急増

残留性有機汚染物質／京大など発見  
京都大学などの研究グループは、残留性有機汚染物質「短鎖塩素化パラフィン(SCCPs)」が中国の食品中で急増していることを発見した。中国は世界最大の生産国で08年に45万トン生産。(28面)

## TELOP

## 江蘇省にシート工場

仏フォルシア／年400万平方メートル(25日8面)

## 常陽銀行、元建て外国送金

大手企業に限定(28日34面)

## 浙江省に支店

あいおいニッセイ同和損保(27日23面)

## 村田製作所、西安に事務所

エンジニア常駐(28日8面)

## ひと

中国に合った部品  
「日系部品メーカーと組んで中国地域の自動車メーカーに部品を供給することがテーマの一つだ」と強調するのは丸紅オートモーティブ社長の平松雅之さん。日系各社が中国に「第2ブランド」として投入する低価格車も視野に「中国市場に見合った投資を行う」。(27日＝6面)

## 中国を生かす

「NTTデータの傘下に入って良かったのは、中国にある経営資源を生かせることだ」と、米キーンCEOのジョン・マッケインさん。北米を中心に情報システム構築を手がける。インドに多くの拠点をを持つが「中国からアジアへサービスを届けられる」と喜ぶ。(27日＝13面)

## 外で安く、内は高い

「日本の鋼材は外国で安く、国内では高い。この内外価格差を解消してほしい」と、川崎重工業常務で船舶海洋カンパニープレジデントの神林伸光さん。使用量約20万トンのうち、数%を中国から調達。階段や手すりなどに「試験的に使っている」と明かす。(28日＝7面)

## ニプロ、インドなどで拡大

医薬品ガラス容器  
ニプロは、インド、欧米、ロシアで医薬品ガラス容器事業を拡大する。インドでは、容器加工の合併事業を開始。注射剤容器の加工を行う体制も整え、インドでの売上高1億ドルを目標に。(14面)

## 日通、タイ東部に多機能倉庫

貿易港へ18km／高速道路沿い  
日本通運は、タイ東部に多機能倉庫「レムチャバン・ロジスティクス・センター」を建設する。2012年2月に業務を開始。最大の貿易港へ18キロ、大型工業団地とを結ぶ高速道路沿い。(19面)

## インドネシアの大手行と連携

国際協力銀／中小進出を支援  
国際協力銀行は、インドネシアの大手銀行・バンク・ネガラ・インドネシア(BNI)と日系の中堅・中小企業に対する進出支援業務で提携した。BNIに日系企業担当の窓口を開設。(25面)

## TELOP

## インドネシアで植林

トヨタ車体／100万本(27日6面)

## 神鋼商事、2事務所を現法格上げ

インドネシアとベトナム(28日11面)

## ブノベンに現法

日本トランスシティ(28日15面)

## ひと

猛スピードで  
「インドネシアの活気に驚いた」と興奮気味に話すのは槌屋社長の大原康之さん。インドネシア・ジャカルタ州に自動車用ラベルなどを扱う販売会社を設立。「渋滞がひどい」ため、オフィスは「高速道路のICの近く」。猛スピードで成長市場での拡販を狙う。(25日＝8面)

## 決断が速い

「タイの現地系板金加工会社は何でもレーザーが当たり前。金型の文化がない」と嘆くのは、プレス機や治具を開発する富士機工社長の柴崎一正さん。「金型のアイデア一つに命を丸くし、その場で装置を買ってくれる。さすが活気も仕事もある国、決断が速い」。(26日＝33面)



7月25日(月)

## 韓国LED、日本に攻勢

節電志向／ウォン安で5割安  
日本で節電志向が高まっていることから、韓国のLED関連企業が日本に販売攻勢。ニッシユギョンは植物工場向けのLEDランプ。品質は同等、円高・ウォン安で価格は3 5割安い。(22面)



看板用LEDモジュール(エスエスライト)

## 船用ディーゼル、ライセンス

ダイハツディーゼル／インド最大手に  
ダイハツディーゼルは、インドのキルロスカ・オイル・エンジンと船用ディーゼルエンジンのライセンス生産契約。キルロスカが440キロワット、2600キロワットのディーゼルエンジンを製造・販売。(11面)

## リョーサン、印・中に拠点

車載電装を強化  
リョーサンは、海外拠点網の拡充に乗り出す。2012年3月末までにインド、ドイツで初の拠点を設置する。中国に4支店を相次ぎ新設する。これらの地域で、車載電装分野に重点を置く。(12面)

## 日立化成・韓国をクラウド管理

日立ソリューションズ／低コスト  
日立ソリューションズは、日立化成工業が韓国・安山市に構える感光性フィルム加工工場の生産管理システムをクラウドコンピューティングで構築した。3分の1のコストで構築。(13面)

## ガス田、シェルと開発

国際石油帝石／インドネシア  
国際石油開発帝石は、インドネシアで操業主体として開発準備を進める大規模ガス田「アパディプロジェクト」で、ロイヤルダッチシェルを戦略的パートナーに選定した。(16面)

## ベトナム海上鉱区権益取得

J X日鉱日石開発  
J X日鉱日石開発は、ベトナム北部海上の探鉱鉱区権益の一部を取得した。権益20%で面積は約4914平方キロメートル。操業主体の英ガランランダー・エナジー(権益50%)から取得した。(16面)

## 技能実習生、年齢引き上げ

ベトナムと合意／女性も  
国際人材育成機構は、外国人技能実習生受け入れで、年齢の上限の引き上げと女性の受け入れに乗り出す。ベトナム政府と基本合意。すでにタイやインドネシアとも基本合意している。(22面)

7月26日(火)

## シンガポールから東北親善大使

被災地や平泉視察／大学生100人  
日本政府観光局とシンガポール日本商工会議所は、シンガポールの大学生100人を「東北親善大使」として受け入れる。被災地を視察。仙台の七夕祭りや世界文化遺産・平泉を訪れる。(3面)

## 三菱重工、タイに一部移管

車用過給器／月4万台  
三菱重工工業は、相模原製作所の自動車用ターボチャージャー(過給器)の生産ラインの一部を年内にタイ工場に移管する。機械加工の2ラインで月間4万台規模。来年にも本格稼働。(6面)

## 日産、年産18万台

インドネシア／低燃費車を増産  
日産自動車は、2013年までにインドネシアでエンジン組立工場を新設するほか、車両生産能力を年5万台から同18万台に。約250億円投資。優遇税制の小型の低燃費車を増産。(6面)

## ホンダ、越に2輪車第3工場

スクーター年50万台  
ホンダは、ベトナムに2輪車の新工場を建設する。年産能力50万台でスクーターを生産する。約96億円投資。ベトナムでは3番目の2輪車工場。同国での年産能力は250万台に。(6面)

## 日立造船、印に現法

都市ゴミ焼却発電など  
日立造船は、インド・デリー近郊に現地法人「日立造船インド」を設立した。インドは社会インフラ整備が活発化、都市ゴミ焼却発電施設、プロセス機器やシールド掘進機などの受注を狙う。(7面)

## 韓国でセパレーター増産

東レ東燃機能膜／年7000万㎡  
東レ東燃機能膜は、韓国でリチウムイオン二次電池向けセパレーターフィルムを増産する。年約4000万平方メートル設備を増設し、韓国の生産能力を同約7000万平方メートルに増やす。(14面)

## 韓・印が原子力協定

印は韓国に原発用地  
韓国の李明博大統領とインドのパティル大統領が、ソウルで会談し原子力協力協定を締結。平和利用を保障。原発の設備や部品の貿易を推進。インドは韓国に原発用地を配分できる。(時事＝15面)

## 山九、インドに新倉庫

ハリヤナ州／自動車・電気製品  
山九は、10月にインドのハリヤナ州グルガオン地区に新倉庫「山九インドガリハルサール ロジスティクスセンター」を開設する。自動車、電気製品などの顧客の国際物流ニーズに対応。(21面)

## アジアで販売金融事業

三菱UFJリース／産機・建機に需要  
三菱UFJリースは、中国、アジア新興国を対象に販売金融事業に乗り出す。産業機械、建機など日系メーカーの拠点進出が相次ぐのに対応、リースや割賦販売の取り扱いを始める。(23面)

## LED、韓国に製造委託

F K K／月400万個  
F K Kは、看板や照明向けに表面実装タイプや砲弾タイプのLEDを日本国内の自社拠点で開発し、素子やモジュールの製造を韓国メーカーに委託。LED素子を月間400万個程度実装。(33面)

7月27日(水)